

「目標」の進行状況について

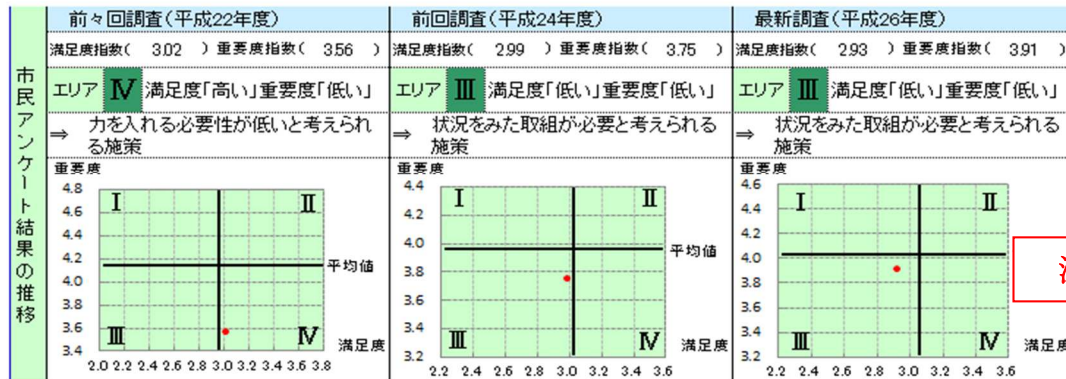
目標の位置づけ:総合計画後期基本計画の計画期間(平成24年度～平成28年度)で達成しようとする成果指標
(各施策に対し、概ね1～4つの目標。合計目標数:78)

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)」の見方】

<色別表示の見方>
 ■:目標の推移が「順調」
 ■:目標の推移が「概ね順調」
 ■:目標への進行状況が「やや遅れている」
 ■:目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考		
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
1		見本	貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	目 安 値 実 績 値 評 価	8,864	9,023	9,18	6	芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用から、貸館の利用件数が増えていると考えられる。	7	利用者の利便性を考え、利用しやすい親しまれる施設運営をしていくとともに、利用する人を支援する施策を検討していく。	目標達成
2	111	文化・芸術	観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	目 安 値 実 績 値 評 価	39,075	39,306	39,538		各施設とも、企画を考えて実施し入館者増を図っているが、入館者数は変化していないことから、減少傾向は継続していると考えられる。		展示・展覧会の企画に力を入れていくとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入場者の増加に取組む。	
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	目 安 値 実 績 値 評 価	70	72	75		教室の内容を発掘調査体験から作業体験に変更し、参加者が増加した。		少年考古学教室を継続するとともに、児童生徒が参加しやすい時期に開催することや、文化財への関心を高めるための内容などを検討し、「順調」の評価を維持することを目指す。	目標達成



アンケート結果の分析 8

・重要度の指数は、平均より低いものの前回より上昇している。満足度の指数は平均値付近で下降傾向にある。施設等のハードに対する関心の高さから、文化や芸術の振興施策に住民の期待が高まり、重要度指数が上昇していると考えられる。

注：記載内容は昨年度のもので記載されています。

① 計画策定時の値

後期基本計画策定当時の直近の値(ほとんどの項目において、平成22年度の値)

② 平成28年度末の目標値

後期基本計画において、平成28年度までに達成すると定めた値

③ 目安値

平成28年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。
多くの目標において、現状値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしている。
(例:現状値が100人、目標が600人の場合の平成26年度の目安値…300人)
ただし、均等な推移が見込めないなど、これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を再設定。

④ 実績値

平成26年度の実績値

⑤ 評価

次の基準によって判定を行う。

T : 目標進捗率 = (H26年度実績値 - 現状値) / (H26年度目安値 - 現状値)

区分	H24 (H25年度に評価)	H25 (H26年度に評価)	H26 (H27年度に評価)	H27 (H28年度に評価)
順調	目安値以上の改善 $T \geq 1.0$	同左	同左	同左
おおむね順調	目安値の5割以上 10割未満の改善 $0.5 \leq T < 1.0$	目安値の6割以上 10割未満の改善 $0.6 \leq T < 1.0$	目安値の7割以上 10割未満の改善 $0.7 \leq T < 1.0$	目安値の8割以上 10割未満の改善 $0.8 \leq T < 1.0$
やや遅れている	目安値の5割未満の 改善 $0 < T < 0.5$	目安値の2割超 6割未満の改善 $0.2 < T < 0.6$	目安値の4割超 7割未満の改善 $0.4 < T < 0.7$	目安値の6割超 8割未満の改善 $0.6 < T < 0.8$
遅れている	改善が見られない、 悪化している $T \leq 0$	目安値の2割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.2$	目安値の4割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.4$	目安値の6割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.6$
実績値なし	統計上、実績値が 把握できない	同左	同左	同左

⑥ 結果の分析

平成26年度の実績値及びその推移について、評価結果を踏まえて考えられる要因分析や補足説明を記載。

⑦ 今後の方針

結果の分析を受けて、目標達成に向けた今後の取り組み方針について記載。

【審議の視点】

- 目標への近づき具合について
- なぜ遅れているのか
- 何をすればより順調に進むか
- 結果の分析は妥当か
- 今後の方針は妥当か
- 今後の取り組みに対する提言 など

⑧ 市民アンケート結果の分析

当該施策に関する過去3回の市民アンケートの結果を分析し、記載。

参考:アンケート結果の類型

エリア	類 型	
エリアⅠ	満足度「低い」重要度「高い」	力を入れる必要性が高いと考えられる施策
エリアⅡ	満足度「高い」重要度「高い」	現状維持が妥当と考えられる施策
エリアⅢ	満足度「低い」重要度「低い」	状況をみた取組が必要と考えられる施策
エリアⅣ	満足度「高い」重要度「低い」	力を入れる必要性が低いと考えられる施策